

## 希望坂(北中だより)

第3号 令和5年5月16日

みやき町立北茂安中学校

校長 古賀 健司

<https://www.education.saga.jp/hp/kitashigeyasu-j/>



### 学校教育目標

「夢や目標をもち

チャレンジ精神と思いやりの心に

満ちあふれた生徒の育成」



### ◇3年生修学旅行、2年生自主研修、1年生宿泊訓練◇

5月8日(月)、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」へと引き下げられました。そんな中、3年生は修学旅行(5/8~10 関西方面)、2年生は自主研修(5/10 熊本市)、1年生は宿泊訓練(5/9~10)を実施しました。



私は3年生修学旅行に参加しましたが、現地でしか出会えない人や文化に接し、修学旅行でしか味わえない体験がたくさんできました。具体的に何を学んだのかは生徒それぞれですが、きっと価値あるお土産を心に刻んでくれたのではないかと思います。是非、お子様の話を聞いていただき、学びを深めてあげてください。私の心に残ったたくさんの出来事のうち、2つを紹介します。

#### 【宿泊先でのマナー】

ユースホステルでの宿泊初日、廊下をスリッパでパタパタと音をたてて歩く足音、友達を見つけて話しかける奇声混じりの大声…。先生方から指導を受けるとその場は静まりますが、別の生徒が来ては同じことが繰り返されます。残念ながら他の宿泊客の方からの苦情が入りました。「この宿には、赤ちゃんも泊まっているそうです…」先生からそう伝えられると、遠くで聞こえていた声もなくなり、館内が一気に静かになりました。



迷惑をかけてしまったことに心が痛みます。その一方で生徒の反応に、心根の優しさも感じました。3年生は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、宿泊を伴う学校行事は初めてでした。かなり興奮しやすい状況でしたが、気持ちを抑えきれないほどうれしそうな表情を見て、それを微笑ましく思う気持ちもありました。**目では見えない人に思いを馳せる…。**生徒も指導に携わる者も、教訓にしなくてはなりません。

#### 【座禅体験】

天龍寺で座禅体験をする機会を得ました。個人旅行で希望しても入ることができない部屋で、厳しさで有名な方の御指導を受けました。

最初の30分間は正座で、心構えをつくるための指導があります。医師等の診断で正座ができない生徒は膝をのぼして柱に背を当てるなど、できる姿勢で構いませんが、一旦始まると終わるまで真剣さが求められます。

「東日本大震災で、家も家族もすべてを失った18歳未満の震災孤児が260名以上おる。その子らは、一瞬のうちにただ一人社会に放り出された。あんたらには家に帰ったら食べ物がある。勉強する場所がある。寝るための布団がある。ええなあ」「能力というのは目では見えない。でも必ずある。



幼子が何度も挑戦を繰り返して立つように、自分の能力を信じるんや。人は自分に能力が必ずあると信じて言い訳をせず挑戦し続けるのか、しないかの違いや。心のスイッチを入れられるのは自分だけや」など、講話が続く中、正座が苦手な生徒は足がしびれ、苦しんでいるのが背中越しにも伝わってきますが、それぞれが自分と向き合う中、助けることはできません。しかし、全員が終わるまで痛みに耐えました。

それから座禅が始まります。心構えのできた生徒は、さらに1本の線香が燃え尽きるまで全員が頑張りました。ほとんどの生徒が、自ら合掌して希望の意志を示し、警策(けいさく)という棒で背中を叩いていただきました。

開始直前に私の隣に座っていた〇〇〇〇さんが「校長先生も叩いてもらいますか？」と質問してきました。私は「一生に一度だから」と話しました。その彼も複数回にわたってチャレンジし、覚悟を決めたらやれることを示してくれました。

終わった後は、どの生徒の表情も輝いていました。



### ◇生徒会活動のようす◇

4月26日(水)、生徒集会がありました。制服や体操服、給食着の着こなしについて、整えることの大切さを寸劇で楽しく伝えてくれました。また、6月9日(金)に予定している JRC 結団式にむけて、赤十字とその具体的活動についてパワーポイントを使った丁寧な説明がありました。いずれも充実した内容で、あっという間に時間が過ぎていきました。自分の考えを表現することは、自分らしく生きていくうえで大切ですし、相手が受け入れやすいかたちで思いを伝えることは、社会で共生していくことに役立ちます。自立した社会人への階段を着実に昇っていると、頼もしく思いました。



### ◇お花をいただきました◇

4月26日(水)と5月9日(火)に、〇〇様からお花をいただきました。お子さまが昨年度、本校で教育実習をされ、「お世話になったから…」と、それ以降毎月のようにもって来ていただいているとのこと。

いずれの日も、私が不在の時で、直接お会いできずにいますが、感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

